

いとららいふ通信

(社福) みんなでいきる
障害福祉事業部りとららいふ
発行日：2020年8月

気温の高い日が続き、スイカ🍈やメロン🍉といったみずみずしい果物や野菜が美味しく感じられる季節になりました♡旬の食材を頂き、夏を乗り越えましょう！さて、今月号で事業所紹介をお届けするのも3回目となりました☆7月の「ららん」に続き、8月は「にこ」「もーと」の放課後等デイサービス2事業所をピックアップしてお届けいたします🐱



事業所紹介 ～放課後等デイサービス～



にこは上越市寺町の福祉交流プラザ北棟2階に入っています。隣には高田西小学校放課後児童クラブがあります。



見通しのいいワンフロアで活動しており、おやつを食べたり、学校の宿題や自主学習など各々好きな活動をして過ごしています。

放課後等デイサービス にこ



月間の予定表を掲示し、今月の活動内容、避難訓練の予定が一目で分かるようになっていきます。合わせてご利用者の方に「今日の予定」を書いてもらい、いつ、どんな活動をするのか見通しをもって過ごせるよう配慮しています。



ご利用者様それぞれ、好きなスペースで、好きな活動をして過ごしています。ご自分で活動を選びやすいよう、玩具はもちろん、マーカーペンやCDも手が届く位置に置くようにしています。



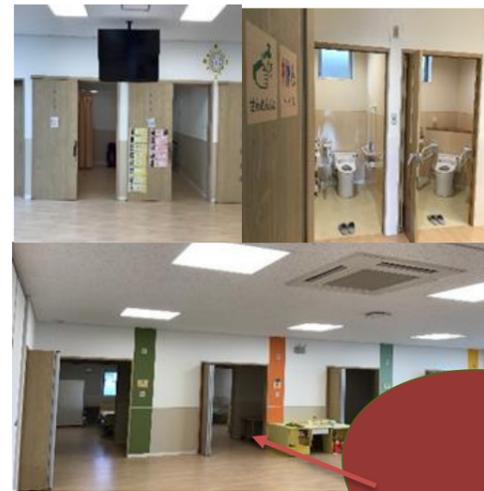
福祉交流プラザの体育館が借りられる日には、鬼ごっこやボール遊びなど体を動かして遊んでいます。学校や学年が違っていても声を掛け合いながら仲良く活動しています。

「もーと」と「にこ」の特色が知りたい！



「もーと」はグループホーム・見守り機能付きの住居からなる複合型施設の中にあって、障がいの有無や年齢を問わず、地域に住む様々な人と繋がることのできる場所だよ

「にこ」は、高田の市街地に近いことから、地域の中での小集団活動を通して、「自分が好きなこと」を追及することを大切にしているんだよ



個人ロッカーは男女別更衣室内にあり、カーテンをして安心して更衣ができます。広いトイレは3室あり、個室は4室あります。



【ばれっと】りとらの家はなれの東隣の建物が「ばれっと」です。放課後等デイサービスもーとは1階の玄関入って正面にあります。

放課後等デイサービス もーと



個室は、身体介助や、宿題をしたり、お友達とじっくり遊んだり…多目的に使用しています。



広くクッション性のある床材のフロアは、色刺激を遊具だけにし、心地良さを大切にしています。「学校」も「学年」も違うけど、今日の過ごしを自分で決め、興味のある遊びを一緒に楽しんだり、お気に入りの場所で安心して過ごしています。



きら



コロナの影響で、毎週金曜日に行われていたダンスができなくなりました。そこで、その時間をジュースとお菓子を食べるお茶会にして、みんなで楽しくゆったりとした時間を過ごしています。「おいしい、おいしい」と言いながら笑顔いっぱいの皆さんの姿が見られました。



にこ



今月のにこの活動では『わたあめ作り』をしました！プラザの調理室をお借りしたり、にこの室内でわたあめメーカーを囲んで賑やかに作りました。「わたあめ作るよ！」の職員の声かけに「夏祭り？」なんて可愛らしく答えてくれた方も！大きくてふわふわのわたあめに思わず笑顔がこぼれる皆さんでした。



ららん



7月は、ららん祭りをしよう🎊でした。ららんフロアに提灯が飾られて、それを見ただけで「わ～お祭りだ🎊」と声を上げてお祭り広場に入り、「焼きそば食べてから遊ぶ！」「先に金魚すくいしたい！」とそれぞれ気になる屋台をめぐり、楽しみました。上越市ご当地キャラクターの「けんけんず」も遊びに来てくれて、ららん祭りは最高潮に盛り上がりました。

もーと



7月のもーとでは『チーズせんべい』をしました！チーズがせんべいになっていく様子を見つめ興味津々のご利用者様。出来立てのチーズを「あつあつ！」と言いながら「おかわりください」とお皿を職員に渡します。もーとの中高生には自分で焼いてもらい、どのタイミングでひっくり返すのか試行錯誤しながら自分の焼いたチーズを食べました！

とも



ソニャーレにジェラート🍮を食べに行ってきました！沢山のフレーバーの中から、それぞれ好きな味を選ばれ、召し上がられています🍷(チョコ🍫が人気でした)久しぶりの外出イベント、ご利用者の笑顔が絶えず見られ職員も嬉しい限りです🥰



「ふつうということ」

障害福祉事業部 りとるらいふ 日中生活支援課 成人係 係長 笹川 隼也

前副理事長である片桐公彦さんが書いた「ふつうということ」ということばが、私は大好きです。りとるらいふの理念と同じ位、自分の中で大切にしていることばでもあり、色々と悩んだ時にやるべきことを教えてくれる道しるべでもあります。

ふつうということ

ふつうとは 何だろう
きつと それは
休みの日の朝 目覚めたときに
今日は何をしようか考えたり
家への帰り道に ちょっと道草してみたり
たまには夜更かしをしてみたり
きつと そうということ

ふつうの暮らしとは 何だろう
きつと それは
新しい出会いがあるとか 恋をしたりとか
おしゃれをしたりとか 時々 失敗したりとか
いいことばかりじゃないと 涙を流したりとか
きつと そうということ

ふつうとは ふつうの暮らしとは
自分のことを自分で選ぶことができ
まわりの人たちが どんなにいても
最後は自分で決めることができるとか
きつと そうということ

きつと そうということ

なぜ、「ふつうということ」が道しるべになっているかという、障害をお持ちであっても、色々な家庭状況をお持ちの方であっても、お年を召された方であっても、それぞれの方に「ふつうの暮らし」というものがあり、それを考えた際に自ずと今必要なこと・やるべきことは何かが見えてくるからです。

そのように考えると、みんなできるといふ法人は障害・児童・高齢福祉サービスを行っていますが、そのいずれにも該当することであるとも感じます。

他にも、このような言葉もりとるらいふで目にし、心にいつも留めています。

『あなたのふつうと私のふつうはだいたい違う』

人の営み・暮らしという中で、「ふつう」はあるけれど、細かな部分であなたにはあなたの・私には私の「ふつう」があり、それは肯定も否定もされるべきではなく、お互いの「ふつう」を知ること・尊重することが大切であるということを教えてもらった言葉です。

ふくしとは、お一人お一人の「ふつうの暮らし」を大切にしながら隣に寄り添わせて頂き、時には支えとなりながら、その方らしく輝ける人生を送れるよう、お手伝いさせて頂く事ではないかとも思います。

あなたの「ふつう」の暮らしとはなんですか？

製作紹介 by きら



毎月第3金曜日の午後に、きらにある缶バッジマシーンを使って、オリジナルの缶バッジ製作を行っています！毎日の活動の中でただ絵を描く🎨だけではなく！今月はどの絵を缶バッジにしようかなど？考えながら楽しみにしている日になっていて出来上がった作品は自分の鞆に付けたりと笑顔🌟が見られています☆